



概要

本協議会は、「市民だれもが身近で利用しやすい持続可能な公共交通の実現」をめざして、岡谷市が主体となって設置した。市の交通施策としては、民間の路線バスが撤退し、市内に1路線のみとなるなか、交通不便者の移動手段を確保すべく、県内では他市町村に先駆け、平成9年度に福祉タクシーの運行を開始、平成12年度には市内を循環するコミュニティバスの運行を開始した。しかし、コミュニティバスの利用者が著しく減少する状況にあり、市の財政負担も増加傾向にある。

こうしたなかで、地域公共交通に関するニーズや課題を把握し、その結果を関係者が共通認識するなかで、役割を明確にして地域にあった公共交通の体系を構築し、持続可能な公共交通の実現にむけ調査検討する。

○地域公共交通の現況

- ・JR 中央本線(駅:岡谷駅、川岸駅)
- ・諏訪バス(株)(路線数:1系統)
- ・コミュニティバス(路線数:7系統)
- ・タクシー(法人2社)

○地域公共交通の課題

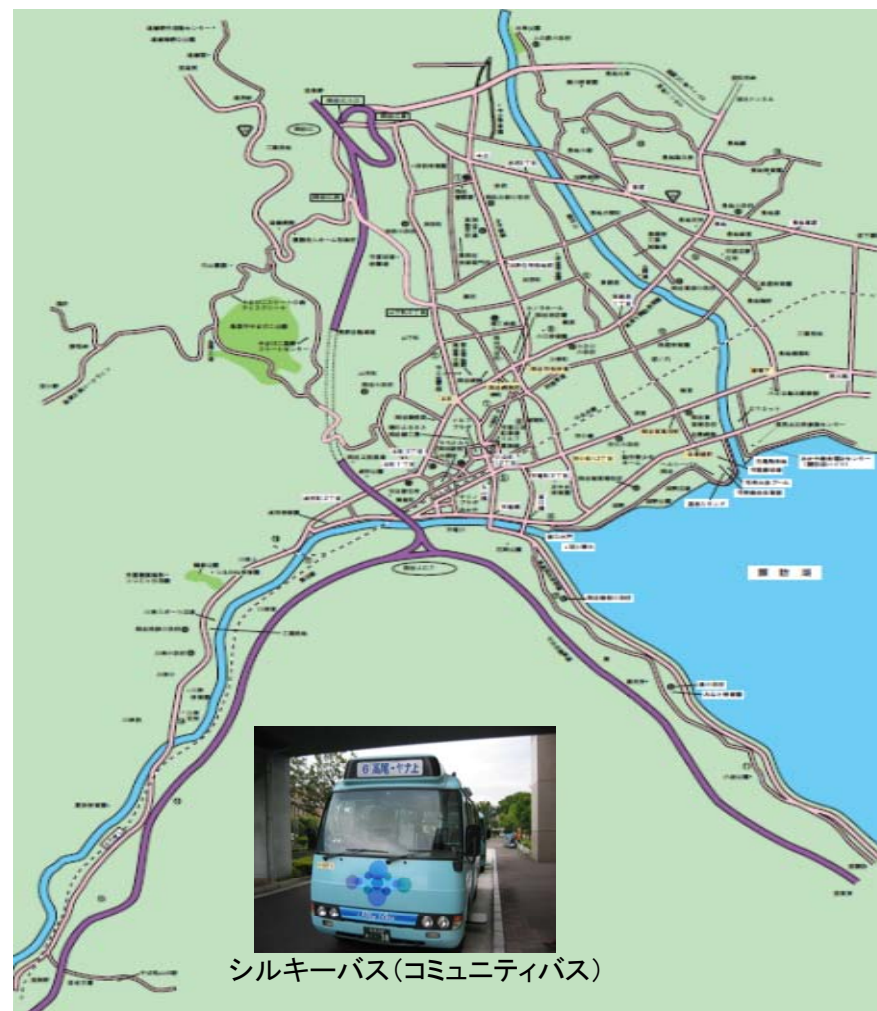
- ・市民の交通需要への対応
- ・交通空白地域への対応
- ・持続可能な公共交通のあり方

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査

○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・既存公共交通の運行の効率化と利便性の向上
- ・既存交通資源の有効活用や新たな交通システムの導入
- ・公共交通の相互連携の強化
- ・財政負担を抑え持続可能な公共交通の実現



シルキーバス(コミュニティバス)